

南砺市の山間地の過疎化について

南砺市企画情報課

南砺市の山間地の深刻な過疎の状況

◆南砺市の山間地は、10年間で大幅な人口減少（H12, H22国勢調査）
 南砺市全体 H12年 60,182人 → H22年 54,724人 9.1%の減
 五箇山地域 H12年 3,496人 → H22年 2,432人 30.4%の減

◆著しい高齢化（H22国勢調査65歳以上人口割合）
 南砺市全体 31.1% 五箇山地域 39.4% ※参考：全国 23.0%

◆豪雪による山間地の厳しい自然環境（H22富山県降積雪及び気温観測調査）

観測地点	標高(m)	年間降雪合計(cm)	最大積雪深(cm)
南砺消防署(福光)	90	465	153
南砺消防署城端出張所	164	708	195
祖山発電所(平)	247	995	255
上平行政センター	328	1,258	319
利賀行政センター	550	1,844	326

- ◆山間地で発生している様々な問題
- 人口減少による農業、林業、伝統芸能、文化の後継者、担い手不足
 - ⇒ 農地、山林の荒廃、伝統芸能、文化の衰退
 - 不利な条件による農地の耕作放棄、山林の管理放棄
 - ⇒ 洪水、土砂崩等の災害発生や熊や猪の出没による鳥獣被害
 - 人口減少による更なる人口減少
 - ⇒ 公共交通、医療、教育環境の悪化
 - 集落のコミュニティ機能の維持・継続が困難、世帯負担の増

城端、福光、井口の山間地でも同じような状況がおきています。

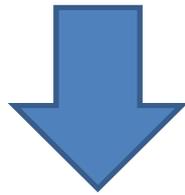
山間地の過疎化が平野部へ与える影響

- ・ 水源かん養能力の低下により、下流域への洪水発生
- ・ 森林保全ができなくなることによって土砂災害が発生し、道路、交通の遮断
- ・ 山林の荒廃による空気、水の浄化能力の低下
- ・ 伝統芸能、文化、産業の衰退による市の観光情報発信力の低下
- ・ 熊や猪等の有害鳥獣の平野部への出没
- ・ 市全体としての活力低下

山間地の公益的機能

- ・水源かん養、洪水防止等の美しく風格ある国土の保全機能
- ・豊かな自然と水や大気の浄化等の環境の保全機能
- ・自然や文化のふれあいを通じた教育の場や心身を癒す安らぎの空間の提供

市民みんながその恩恵を享受



**山間地の公益的機能は
南砺市民共有の財産**

**市民みんなの共有財産である山間地を守るために
山間過疎地域の振興を図る必要があります。**

山間過疎地域で期待される主な振興策

- ・生活交通の確保や道路、通信基盤の整備、保健・医療の確保
- ・森林、農地、観光地等の個性を生かした産業の振興
- ・子育て支援や教育環境の向上
- ・移住、定住の促進
- ・自然環境、景観の維持保全
- ・水源地としての機能維持、保護
- ・伝統文化の保存伝承に必要な支援

